

報道関係各位

2022年度前期 小中学校向け「ロボットプログラミング入門」無償出張授業 開催希望校募集開始

三菱総研DCS株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：松下 岳彦、以下：DCS）は、社会貢献活動の一環として、小中学校を対象にした、ロボットエンジニアの職業紹介、コミュニケーションロボット・プログラミング体験等を内容とした無償での出張授業を実施しています。本日より、2022年度前期の開催希望校の募集を開始します。地方の小規模校の皆さんからのご応募もお待ちしております。

1. 授業内容

本活動は、小中学校におけるキャリア教育やプログラミング教育への貢献を目的としています。児童生徒の皆さんの知的好奇心を引き出し、ロボットやプログラミングとの良き出会いとなるように、「初心者でもわかりやすい」「参加型」を主眼とした授業構成にしています。

<授業時間> 1コマ（45分~50分）

<授業構成>

※当日の構成は、多少異なる可能性があります。

■イントロ

1. 自己紹介

■キャリア教育

2. ロボットプログラマーのお仕事紹介
 - ーいつも、こんな会話をしています（対象:小学校4年生）
 - ーソフトウェアを作る4つのステップ（対象:小学校高学年、中学校）
3. ロボットで私たちがやろうとしていること（対象:中学校）
4. 実証実験ってどんなことするの？（対象：中学校）

■プログラミング体験※

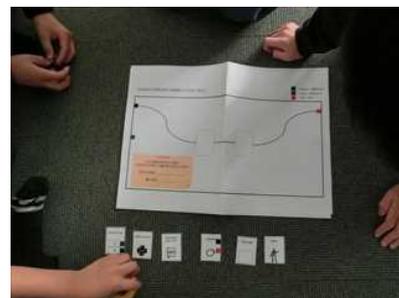
5. ロボットってどうやって動かすの？
6. ロボットに好きな言葉をしゃべらせてみよう
7. おしゃべりの後にジェスチャーをつけてみよう
8. おしゃべりを繰り返してみよう

■クロージング

9. ロボットといっしょに歩いてみよう
10. 質疑応答



※プログラミング体験は、当社エンジニアが、プログラムの開発画面（フローチャート）をモニターで映しながら、児童生徒の皆さんのご意見も取り入れ、即興でアプリケーションを作成し、ロボットの動きや言葉への反映を確認していきます。児童生徒の皆さんは、手元のプリントとカードでフローを作成しますが、実際のプログラミングは行いませんので、ご了承ください。



2. 募集要項

対象学年	小学校4年生～中学校3年生
対象人数	1回あたり35名程度まで（人数の下限なし、複式学級での実施も可能）
募集期間	2022年3月24日（木）～2022年4月30日（土）
授業実施期間	2022年4月11日（月）～2022年9月30日（金）
実施費用	無償（写真撮影、アンケートへのご協力をお願いします）
ご準備いただくもの	HDMI接続のモニターもしくはプロジェクター

※ロボットとふれ合うため、1クラス程度の人数を上限の目安としております。対象人数が多数の場合、1日で複数回実施等、柔軟に対応しますので、ご相談ください。

※応募多数の場合、本活動の趣旨を踏まえ、よりロボットと接する機会が少ないと推察される学校（地方校、小規模校等）を優先させていただくことがありますので、ご了承ください。

3. 応募方法

メールにてご応募ください。

【送付先アドレス：robodev@dcs.co.jp】

※宛先：三菱総研DCS株式会社 デジタル企画推進部 ロボット特別授業担当

件名：ロボット PGM 入門出張授業希望（学校名 例：〇〇小中学校）

本文：・学校名

・住所

・メールアドレス

・電話番号

・窓口ご担当者様氏名

・役職名

・対象学年、人数（検討中の場合は、その旨お知らせください。）

・授業実施希望月または期間（検討中の場合は、その旨お知らせください。）

・その他ご要望、ご連絡事項など

■三菱総研DCSについて

DCSは、1970年の創立以来、銀行・クレジットカード等金融関連業務で豊富な実績を有するIT企業です。2015年にはインターネットを通して学校と受験生を繋ぐ入試関連サービス「miraicompass」を構築、学校向けのイベント予約、資料請求、インターネット出願などのサービスを提供しています。全国で1,000校近くの小学校・中学校・高等学校と延べ180万人の受験生・保護者の方にご利用いただいています。

また、2016年よりコミュニケーションロボットへの取り組みを開始、複数の企業への受付ロボットの設置、

2018年からは高齢者や子ども向けのニーズを発掘し、新たなサービス提供に向けた活動を開始しています。2019年度には、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)の「ロボット介護機器開発・標準化事業(開発補助事業)」の採択を受け、介護分野向けの開発を本格化するとともに、教育現場における活用支援についても検討を進めています。

*当プロジェクトは、ソフトバンクロボティクスの「NAO」を活用し、当社が独自に実施しています。

■本リリースに関するお問い合わせ先

三菱総研DCS株式会社

〒140-8506 東京都品川区東品川四丁目12番2号

・当リリースに関して 広報部

TEL: 03-3458-8214 E-mail: kouhou@dcs.co.jp

・ロボティクスの取り組みについて

URL: <https://www.dcs.co.jp/news/2020/201005.html>

URL: <https://www.dcs.co.jp/technology/report/robotics3/index.html>

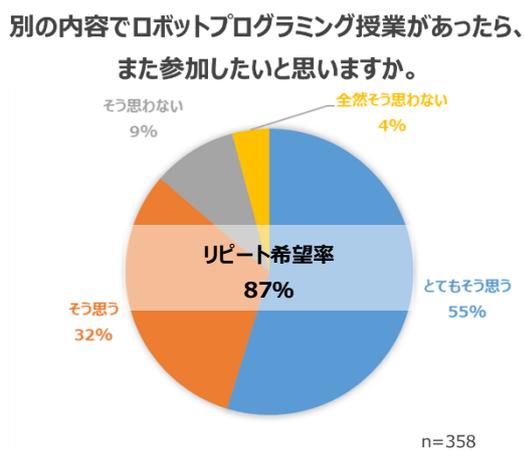
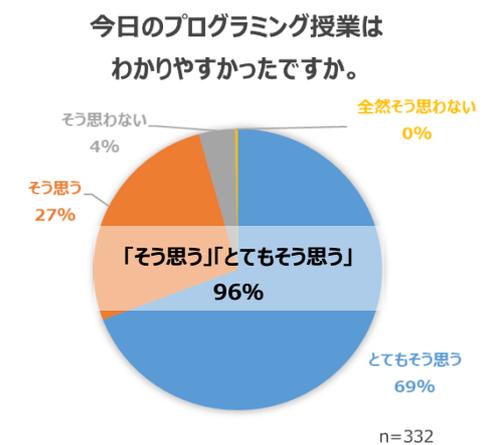
別紙：2021 年度後期開催実績

・2021 年度後期開催校（開催順）

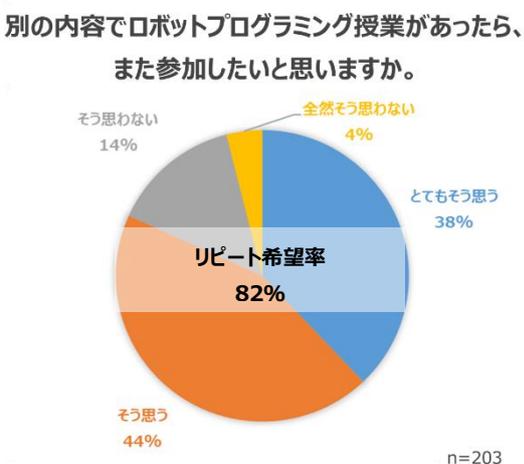
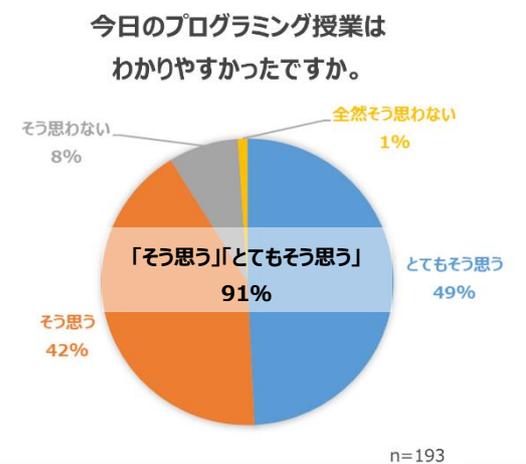
	小/中学校	学校名	所在地	学年	コマ数	受講者数
実施	13校				33	914
1	小学校	昭和女子大学附属昭和小学校	東京都	5, 6年	6	203
2		吉見町立北小学校	埼玉県	4, 6年	2	30
3		坂祝町立坂祝小学校	岐阜県	3～6年	1	15
4		尼崎市立難波小学校	兵庫県	4年	2	59
5		北九州市立鶴生田小学校	福岡県	5年	2	59
6		野田市立東部小学校	千葉県	4, 5年	3	82
7		大阪市立内代小学校	大阪府	6年	1	24
8		松戸市立馬橋小学校	千葉県	6年	3	99
9		杉並区立四宮小学校	東京都	6年	4	113
10	中学校	帯広市立緑園中学校	北海道	3年	3	83
11		滝川中学校	兵庫県	2年	4	96
12		大阪信愛学院中学校	大阪府	1年	1	31
13		森村学園中等部	神奈川県	1～3年	1	20

・アンケート結果（2021 年 12 月実施分まで）

<小学生>



<中学生>



<教職員>

(小学校)

- ・やはり実物のロボットが動くところを見られるのが一番だと思います。百聞は一見にしかずとはこのことだと思いました。
- ・教師にとっても児童にとっても大変魅力的でした。サンタさんからのクリスマスプレゼントに NAO が欲しいとお願いしている子がいると保護者に聞きました。

(中学校)

- ・生徒が興味をもちそうな専門的知識が盛り込まれ、学校教育ではなかなか入りこめない領域まで授業していただき大変有意義であった。
- ・プログラミングの仕組みから、それに関係する方々の業務内容まで、非常にコンパクトかつ網羅的・体系的に内容がまとまっていた。
- ・プログラミングもそうですが、ロボットエンジニアの考え方など導入部が聞いたことが、生徒たちのキャリアを考える上で大きなターニングポイントになるきっかけを頂いたように思います。

続編のプログラミング授業があったら、
また応募したいと思いますか。

